



## 図書館のおたのしみ会

6月7日(水)午後4時～

内容／絵本の読み聞かせ、紙芝居、ブックトーク、折り紙など  
 場所／原村図書館2階  
 子どもボランティア“のこのこ”の小中学生による絵本の読み聞かせや紙芝居があります。お楽しみに。

## 第26回 図書館まつり

6月17日(土)  
6月18日(日)

詳細は6ページ  
をご覧ください。

## 子どもとしゃかんボランティア “のこのこ” 募集

図書館まつり、おたのしみ会、クリスマス会などのお手伝いをしてくれる小中学生を募集しています。興味のある方はご連絡ください。

## 諏訪地域公共図書館 情報ネットワーク 「すわズラー」

ご自宅のパソコンから、諏訪地域6市町村の図書館資料検索・予約(要登録)ができます。(https://www.libnet-suwa.gr.jp)

※紹介本表紙掲載については、出版社の許諾済みです。(TRCマークより)

## おすすめ図書

### 「くたかけ」

小池昌代(鳥影社)

海辺の町に暮らす三世代の女たち。一家からみつく奇妙な男。男の持ち込んだ三羽の鶏。彼は宗教者か、犯罪者か。家族のねじが狂い始めて…。ゆるやかに解体される家族の物語。



### 「放課後の読書クラブ」

小手鞠るい(偕成社)

木の物語、犬の物語…。著者自身のその後の進路や生き方に、大きな影響をあたえた本をテーマ別に紹介する。「若草物語」「人間失格」から着想を得て書かれた短編2編も収録する。



### 「18歳までに知っておきたい契約のはなし」

神坪浩喜(みらいパブリッシング)

携帯電話の契約、クレジットカードを作る契約…。18歳になれば、法定代理人の同意がなくても自分一人で契約することができる。消費者被害にあわないで人生をよりよく生き抜くために、契約の使い方や知識をわかりやすく解説。



### 「寓話に生きた人イソップ」

イアン・レンドラー文/パメラ・ザガレンスキー絵(化学同人)

2500年以上語り継がれるイソップ寓話。古代ギリシアで奴隷として生まれ、才能によって自由を手に入れたイソップの人生物語と、「ウサギとカメ」「オオカミがきた!」などの寓話全13話を、鮮やかな絵とともに収録する。



## 原小学校・原中学校 学校応援通信

### できる人が・できるときに・できることを

今年は桜の開花が早く、草花や木々の芽吹きからもエネルギーをいっぱい感じている子ども達です。原小学校・原中学校の学校応援団も徐々に始動しています。学校応援団のボランティアさんと、今年もつながり始めています。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

お願い ボランティアさんの保険に加入するために、氏名と連絡先を学校へ教えてください。

—— 学校応援団のボランティアさんの心得 ——

- ①「無理はしないで」 できる人が、できるときにできることでつながりましょう。
- ②「子どもや学校の力になりたいと思ったときがチャンスです」 他人から強制されるものではありません。自発的な意思をお願いします。
- ③「子どもを育てに当たって、ルールがあります」 子どもや先生と一緒に活動し、学校をより良くしていく活動です。守秘義務など子どもを守るためのルールを遵守することが必須です。
- ④「ぜひ、みなさんのこれまでの経験を子どもたちに伝えてください」 ボランティアさんご自身の経験や専門性を活かしていただけましたら最高です。
- ⑤「地域と学校、村民と子ども、村民同士が分かり合えます」 地域コミュニティを活性化するひとつになれば幸いです。
- ⑥「互いの健康を守りましょう」 体調に不安があるときは、無理はしないでください。

問 原小学校 ☎79-2123 (直通) 原中学校 ☎79-2455 (直通)

ぜひご登録  
ください

QRコードで登録いただきますと、学校からお手伝いをお願いしたい活動があるときに、メールでお知らせが届きます。QRコードの登録が難しい方は、どうぞ学校まで連絡をください。



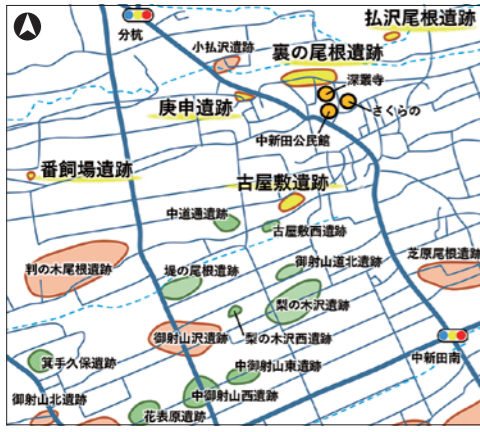
## おらが村の足跡 95

### 中新田地区の5遺跡

今回ご紹介するのは、中新田地区の5遺跡。大集落は見つかっていませんが、小規模な遺跡が多く点在し、縄文の人々の生活域だったと想定される地域です。

### 大きな遺跡があったかも…！ 番飼場遺跡

かつて中新田の南方に実在した遺跡ですが、昭和50年の圃場整備事業



●：消滅した遺跡 ●：原村の遺跡

によって発掘調査を待たずに消滅してしまいました。古い文献からは縄文時代の石器類が出土したこと、また昭和に入っては縄文土器の採集も確認されています。中には釣手土器の破片など、かなり良好な遺跡だったことを伺わせる遺物も。集落があったかのかも!?…といったことは、残念ながらもうわかりませんが、採集された土器破片には縄文時代中期頃(5500～4500年前くらい)のものが多く確認されています。

## 番飼場・裏の尾根・弘沢尾根・庚申・古屋敷遺跡

態はあまり良いとは言えない現状です。採集された土器破片から縄文時代中期の遺跡と考えられ、中でも昭和27年に発見された石棒(高さ46cm、半花崗岩を加工した優品)が目立ちます。

### 縄文中期の土器を採集 弘沢尾根・庚申・古屋敷遺跡

いずれも発掘調査は行われていませんが、昭和の分布調査(遺跡の有無や範囲を確認する、表面採集が中心の調査)などにより、縄文時代中期頃の土器破片が採集されています。近世以降の開発が進む中、失われてしまった痕跡も多くありますが、5000年前の足跡は確かに残っていたようです。

調査今回ご紹介した遺跡の出土品は現在、役場1階の村民ホールに展示してありますので、役場にお越しの際は、ぜひご覧ください。

☎ 生涯学習課文化財係 松森多恵 79179330 (直通)



▲石棒(縄文時代・裏の尾根遺跡)

### 深叢寺の裏の尾根

名前のとおり、深叢寺の裏(北側)の尾根に立地する遺跡です。古くから縄文土器や石器の発見が知られていましたが、田畑や道路の開発もあり、遺跡の保存状

## 有線放送が電話で聞けます

☎ 0800-800-6299 (通話料) (無料)

最新の放送から順に過去の放送(20回分)が流れます

問 総務課 情報防災係 ☎75-5710 (直通)

